

平成 28 年度 事業報告

社会福祉法人 やまなみ会

グループホームくんわ

平成28年度外部サービス利用型共同生活援助事業報告書

本年度は4月に熊本地震が発生したことで、グループホーム利用者にも大きな不安と衝撃を与えた。被害の早期把握と復旧、その後の利用者の精神的なフォローに全力を注いだ一年となった。その後も相次ぐ余震や阿蘇山の噴火に伴う停電を経験し、災害時や緊急時の体制を強化する必要性が生じた。また、バックアップ施設であるくんわの里との連携体制、非常食の確保についても再考する必要がある。

グループホームの行事としては、毎年行っていた旅行について本年度より見直しがあり、事業所別での実施となったことで廃止となった。季節ごとのレクリエーション行事についても災害のため断念せざるを得なかった。そこでお盆休みや正月休みで帰省されない利用者に対しては外出支援を行い、楽しみが損なわれないよう配慮した。

グループホームの定員は60名で、緊急用受け入れ居室も1室整備し地域貢献に努めている。また、熊本県地域定着支援センターとの連携で触法障害者の社会復帰について昨年度より受け入れを行っている。近年はグループホームが精神病院から長期入院患者の社会復帰の場所としての機能も期待されており、今後もその役割は大きくなっている。全利用者に占める精神疾患の利用者の割合が高くなっている(45%)。

障害の種類が多様になり、障害の特性から配慮を必要とする対応が求められるようになったことで、対応する職員のスキルアップやフォロー、受け入れ態勢の強化が急務である。

世話人は昨年度より派遣会社からの派遣社員として従事しており、サービスの均一化を目指し、利用者の不安が最小限になるよう努めた。

食事提供については家族等の要請もあり、また、昼食を食せず嗜好品の摂取などが要因と考えられる体重増加者などを考えて365日稼働体制を目標に検討を行った。特に土日の食事提供の方法がネックとなっている。今後、見直し検討が必要である。

1. 利用状況

・定員数 60名 (現員 53名)

(内訳：知的障害のみ27名 ・精神障害のみ5名 ・重複障害 21名)

GH名称	定員	現員	男性	女性	療育状況					平均年齢
					B1	B2	A1	A2	精神	
くんわホーム	9	9	9		5			3	1	48.2歳
治誠寮	5	5	5		3	2		1		36.6歳
第二治誠寮	7	7	7	0	3	3		1		53.1歳
かがやきハイツ	9	8	1	7	4			3	1	45.1歳
ひだまり	7	7	4	3	3	1		1	2	53.4歳
グリーンハウス	5	5	5			4		1		37.6歳
コーポ赤水	9	6	6	0	3	1		2		51.7歳
くろかわ	9	6	0	6	5				1	50.0歳
平均	60	53	37	16	26	11		12	5	47.6歳

2. 利用者経済状況

障害年金	障害年金＋生保	生保	給与のみ	計
45名	5名	2名	1名	53

3. 新規利用者及び退去者の状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規	1	1									1		3
退所				1							1		2

新規利用者は支援学校卒業生が1名、社会復帰更生施設より1名、福祉課からの要請で緊急保護として受け入れた1名であった。また退所者は、実家帰省中に震災にて被災し家族の元へ戻られた方が1名、緊急保護後、就労施設へサービス内容の変更1名（インターワーク・草原の風）であった。

本人のニーズを聴きながら、日中事業所・相談事業所・各市町村行政等、各関係機関と検討会議を行い、本人のニーズに沿った支援を行った。

結果的に入居には至らなかったものの、地震後の受け入れ先として問い合わせや見学、体験入居等の依頼も多くあった。希望に応じて随時、見学者への案内や説明等を行った。

また、くんわの里敷地外のグループホームにて問題行動があり、敷地内のホームへ転居した例が2件、逆に敷地内のホームにて男女問題の回避を理由に敷地外のホームに転居した例が1件あった。グループホーム毎に男性・女性と区別せず、混合入居を基本にし、支援の高い傾向がある方、まだ生活状況が見えない方は入居場所をくんわの里の同一敷地内として考えた。

4 支援内容

- ① アセスメントでの聞き取りにて利用者のニーズの把握を行い、個別支援計画に沿って支援した。定期的にモニタリングを行い、必要に応じて各行政機関や各事業所と検討会議を行った。
- ② 就労作業については日中事業所との連携を図り、日中事業への参加を促し、働いて収入を得ることで自身の楽しみや将来的にも安心な生活が送れることを助言・支援した。また、年金及び就労収入以上に支出している、あるいは滞納している者については金銭管理の指導を行った。
- ③ 健康管理については、日頃より世話人や生活支援員がバイタルチェックを行い、サービス管理者に申し送り、日中事業所のスタッフへ連絡し、状況に応じてくんわの里の看護師の助言を仰ぐなどして病院受診につなげた。予防的な管理については定期的受診時や地域検診を利用して健康診断等実施した。病状に合わせ医師の助言に基づき、世話人との連携により食事療法や運動療法を行い、万歩計を使用して歩け歩けグラフを作成し一緒に歩く事で適度な運動に取り込める様支援を行った。服薬に於いては誤薬の無い様、世話人の協力のもとで全員の服薬確認を行い支援に当たった。

- ④ 対人関係トラブルに対しては、まず双方の話を聴き、状況に応じて調整支援し、共同生活を行う中でルールを守ることやお互いを思いやり助け合うことの大切さを説明・助言し支援した。
- ⑤ 日常生活に於いては生活リズムの構築と安定に重点を置き、世話人と連携して起床・離床・洗濯・掃除・入浴・食事摂取等の習慣づけを繰り返し説明・助言した。個々に応じて出来ないことはスタッフが本人と一緒にいき、助言しながら支援した(配膳・食器洗い、ゴミ捨てや居室の清掃など)。
- ⑥ 買物・外出等の希望があった際は、必要に応じて送迎支援を行い、将来的に単独で行きたいと希望される方には、時刻表を見て交通機関を利用するよう支援し、場合によってはスタッフが同行する形をとった。
- ⑦ 利用者に各行事やイベント等の案内や参加を呼びかけ、地域の方々と交流を深め、障害者への理解が得られるよう支援した。
- ⑧ 金銭管理については、まず本人の希望を聴き、世話人と共に相談・説明を行い、物事の優先順位や収入と支出とバランスが利用者本人に理解出来るよう丁寧に助言し、将来を見据えて貯蓄できるよう支援を行った。嗜好品に浪費しがちな利用者に対しては利用料の滞納で生活に困ることや病院受診代等必要な支払いについての説明を繰り返し助言し、支援を行った。
- ⑨ 定期的に運営会議、スタッフ会議を開き、利用者の状況やニーズの把握に努め、サービスの質の向上にあたった。また、スタッフのスキルアップのために外部講師による研修会を実施した。必要に応じて各支援担当者、各事業所、市町村、医療機関等との検討会議を行い連携して支援を行った。
- ⑩ 防災管理については、地震をはじめとする災害時の経験をもとに非常時の体制について見直した。避難場所及び避難誘導経路や緊急時の連絡体制の確認を行い、各グループホームに非常時の備品(卓上コンロ、懐中電灯、救急箱)を配備した。更にバックアップ施設であるくんわの里との連携で非常食や保存水を準備し災害時に備えた。合同で定期的な避難訓練(年2回6月・8月)を行い、職員・利用者の防災意識の向上につなげた。

くんわの里敷地以外にあるグループホームについては、普段から地域住民の方々との交流を深め、利用者への理解に基づき非常時にも配慮ある協力を得ている。

前年度に各グループホームに導入したセコムセキュリティシステムの稼働にて夜間や世話人不在時でも迅速に職員が対応できるようになった。また全グループにスプリンクラーを設置したことで火災発生時の初期消火の強化を行った。これらについて定期的なメンテナンスを行い、非常時の安全対策に努めた。

利用者に対しては、決められた場所での喫煙と火の元の最終確認を助言・指導し、スタッフ会議においても世話人に周知徹底を図った。

5 レクリエーション

グループホームの行事としては、毎年行っていた旅行について各事業所での開催となり、GHの居住の位置づけを明確にした。グループホーム全体で行っていたバーベキュー等は各グループホーム単位で行うこととした。季節ごとのレクリエーション行事については災害のため断念せざるを得なかった。そこでお盆休みや正月休みで帰省

されない利用者に対しては外出支援を行い、楽しみが損なわれないよう配慮した。く
んわの里（秋まつり）や地域での行事等の参加を促し、利用者の楽しみが得られる様
に務めた。

6. 年間行事活動報告

	GH利用者対象	地域活動・防災・検診等	スタッフ研修等
4月		・4/14. 4/16 熊本地震	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
5月	・5/4 ボーリング・買い物(中止)		・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援会議
6月	・6/9 生活介護お楽しみ会 (カドリードミニオン)	・6/14 避難訓練	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・ケース検討会議
7月			・やまなみ会職員研修会 ・運営会議 ・GHスタッフ会議
8月	・8/13 バイクング・バーベキュー ・8/14 光の森買い物 ・8/15 大分市わさだタウン	・阿蘇市住民健診	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
9月	・9/3 くんわの里まつり(中止)	・健康診断	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
10月	・すぎのこまつり (小国支援学校)	・10/8 阿蘇山噴火・停電 ・地域清掃・花苗植え ・消防点検	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・世話人会議
11月	・11/12 くんわ技研B型 ロアツ熊本サッカー観戦 ・11/13 障害者スポーツ大会 ・11/25. 26 くんわ技研A型別府旅行	・インフルエンザ予防接種 ・避難訓練 ・阿蘇市住民健診	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
12月	・12/14. 15 生活介護天草旅行 ・12/17 もちつき大会 ・12/15 クリスマス ・12/31 大晦日		・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
1月	・1/1 正月お節 ・1/7 どんどや ・1/2, 1/3, 1/9 初詣		・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・支援向上委員会
2月		・2/5 東黒川地区初寄 ・2/12 上西黒川地区初寄	・運営会議 ・GHスタッフ会議 ・担当者会議

<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3/30～3/31 くんわの里就労B型別府旅行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高森歯科訪問診療 ・ 避難訓練 ・ 消防点検 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運営会議 ・ GHスタッフ会議 ・ 熊本県施設監査指導 ・ 外部講師による研修会
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------